

省の休業以來既に二百未だ詳決の曙光も見えぬ町の疲弊荒蕪を對し工場とては誠と相濟する處あり。

第二回 所有志との會見 自午後一時三十分至三時半

會社側 工場長 笹子 謹氏 主事兼事務部長 竹内十一郎氏

造機部長 西牧忠治氏 庶務課長 山崎政男氏

主事所有志 沢岡儀一氏 大下榮弘氏 小林勝三郎氏 桑原葉夫氏

柏原清一氏 川道元吉氏 水本久吉氏 横峠清風氏

所有志 御多忙中度々失礼致し相濟せません。此事件も長引きます御心配

と擧出す。本日御見舞旁々陳情書を提出済みから御納め願ひます。

笹子氏 「覽後承知致しました。

所有志 前田御伺ひに職長連中の御仲裁は効を奏しませんでした。御心配を

笹子氏 今別然慥かとは今の處行ません下。

有志 其後職長連中は如何様か都合ですか。

笹子氏 此間職長の手段甚麼方法も依り來たお話し難いから職長連中

心配も甚だか否は勿論斯う事は好む處がなく一日も早く開門が度いと

願ひ居る譯です。其れは會社側の條件は門を閉じて居るからと云ふ

一 從來の面目を一新せしめ専ら能率増進を計る事

二 再び斯う不祥事を引起さぬ様互に努力を要す

右条項に資格者之を保証し得るに於ては能率増進の程度に應じて早給せん

尚解雇者の家族を氣の毒と思ふから、會社を賣出し社會救済の意味を於て

少しは金を出すと云つたが先方が聞かれない。只々吾々としては早く開門

致したいが、開けても今迄と同様結果が現れない。犠牲者如何人とか其辺

を考へを難い。開けても言つて職長も手を引いた。實際色々手

換え品を換えて毎夜交渉を重ぬた。又二時急かす由協議を大に

而して或る工場の人個人々々個人資格を譲合ふと云ふ方法が稍よ